

進路指導室から 第345号

はじめに

11月も終わりに近づいています。今月は、何かと業務がかさみ、あっという間に過ぎてしまったような気がします。

さて、現在の基町高校の南棟は広島城側に建てられています。南棟には、ホームルーム教室や特別教室の多くが配置されています。一方、反対の北側には北門があります。現在の校舎が建てられる前は、北門が多くの正門であり、ホームルーム教室などが配置されていた校舎がありました。左の写真は現在の北門付近の光景です。左側には立派なエノキが色づいています。春夏秋冬を通して多くの鳥類が行きかいます。また、中央にはソテツが見えます。なお、右の写真は、1961年当時の北門付近の光景です。左に見えるのがソテツでしょうか。

〔現在の北門付近〕

〔1961年の北門付近（同窓会ホームページから）〕



「2022年度志望動向」について

ベネッセコーポレーションは、9月に行われた第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試の志望校調査から、2022年度入試の動向について以下のように分析しています。

□ 近年の入試を取り巻く状況

◇ 受験人口の減少が続き、全体的に競争は緩和される

2021年度入試では受験人口が大きく減少しましたが、受験人口の減少は今後もしばらく続くものと考えられます。18歳人口の推移をみると、この6、7年は120万人前後で推移していましたが、2021年度入試を境にして2024年度入試まで減少幅が大きくなります。現高校1年生が受験する2024年度入試で約107万人と予想され、2020年度入試を基準年として約9%減少することになります。

また、過年度生も減少すると推測されます。2021年度入試は新入試の初年度であり、移行措置がとられなかったことから過年度生が大きく減少しました。大学入学共通テストの志願者数でみると約2割の減少となりました。これにより、現役生の合格者数が増加する傾向がみられ、今後も過年度生は少ない状況が続くものと予想されます。

2022年度入試では18歳人口が約2万人減少する見込みです。大学入学共通テストの出願者数は10月7日（出願受付最終日）の大学入試センターの発表では、前年同時期の約98%に減少しており、特に高等学校卒業者等が約92%と、過年度の減少が目立ちます。

◇ 前年度のコロナ禍特有の入試変更はもとに戻る見込み

2021年度入試では横浜国立大学や宇都宮大学が個別試験を大学入学共通テストの結果で代替するといった変更を行いましたが、現時点では2022年度入試は例年通り個別試験を実施するとしています。このような個別試験の廃止といった受験生に大きな影響を与える入試変更は8月までに公表することとされていましたが、目だった変更はみられません。

□ 志望動向サマリー

◇ 医療に関する系統の人気および語学・国際関係学系統の不人気が続く

系統別の志望動向をみると、新型コロナウイルス感染症の影響が強く表れています。薬学系統の中心として医療系に関する志望者数が増加する一方で、語学・国際関係学や、社会学系統の中の観光学系統などでは志望者数の減少が目立ちます。

また、近年、志願者数の増加や学部の新設・改組が続いている情報系統は、人気が続いています。

◇ **国公立大学 難関大学の志願者数が増加**

国公立大学全体の志願者数は対前年指数100と前年並です。入試難易別に志願者数の対前年指数をみると、難関国立10大学で103、ブロック大学全体で101、その他の国公立大学が99と、入試難易度の高い大学群ほど志願者数が増加しています。

◇ **私立大学 共通テスト方式の志願者数が増加**

私立大学の志願者数は対前年指数99と前年並です。入試方式別にみると、一般方式の志願者数は対前年指数95、共通テスト方式の志願者数は対前年指数108と、共通テスト方式の志願者数が増加しています。新型コロナウイルスの感染リスクを考慮して、受験のための移動を避けようとする動きが背景にあると考えられます。

また、難関12私立大学全体の志願者数は対前年指数の105とやや増加しており、国公立大学と同様に入試難易度の高い大学では志願者数が増加する傾向にあるようです。

□ **2022年度入試の主な変更点**

◇ **大阪公立大学 大阪市立大学と大阪府立大学が統合**

2022年度入試では公立2大学、私立2大学の計4大学が新設を予定しています。

大阪市立大学（8学部）と大阪府立大学（4学域）を統合し、新たに大阪公立大学（11学部1学域）が新設されます。学生数は約16,000人となる予定で、入学定員も国公立大学としては3番目に大きい大学となります。一般選抜の募集人員について2021年度入試では大阪市立大学が1,430人、大阪府立大学が1,153人（合計2,583人）でしたが、2022年度の大阪公立大学では2,422人と141人減少します。一方、大阪公立大学の一般選抜の志願者数は19,935人となっており、前年度の大阪市立大学（12,601人）、大阪府立大学（6,816人）の志願者数の合計（19,417人）と比較すると、指数103とやや増加しています。

〔新設予定大学〕

大学名	学 部<学科・コース>
川崎市立看護大学	看護<看護>
大阪公立大学	現代システム科学、文、法、経済、商、理、工、農、獣医、医、看護、生活科学 ※ 大阪市立大学と大阪府立大学が統合
大阪信愛学院大学	教育<教育>、看護<看護>
令和健康科学大学	看護<看護> リハビリテーション<理学療法、作業療法>

※ 大学名、学部などは申請中であり、すべて仮称となります。

◇ **学部・学科の新設・改組**

学部学科の新設・改組も複数の大学で予定されています。奈良女子大学では、国公立大学を含め女子大学では全国初の工学部を設置予定です。工学部の入学定員は45人ですが、理学部、生活環境学部の入学定員がそれぞれ15人、30人減少します。

富山大学は人間発達科学部を教育学部に改組し、金沢大学の人間社会学域学校教育学類との共同教員養成課程を設置する予定です。両大学の授業を遠隔で受けられるほか、インターンシップや教育実習も両県で受けられるほか、取得できる教員免許の幅も広がります。募集人員は人間発達科学部170人から教育学部85人へ半減します。

近年、社会的ニーズも高く、系統人気も高い情報系学部の新設も目立ちます。名城大学で情報工学部、近畿大学で情報学部、岡山理科大学で情報理工学部を新設します。

〔学部・学科の開祖（一部抜粋）〕

大学名	学 部<学科・コース>
富山大学 金沢大学	共同教員養成課程を設置 富山大学出は人間発達科学部を教育学部に改組し、募集人員を170人から85人へ半減
奈良女子大学	工学部（工学科45人）を新設 情報衣類環境学科生活情報通信コース、生活文化学科を改組し、文化情報学科へ改組
前橋工科大学	工学部6学科を2学群6プログラムに改組
兵庫医科大学	薬学部、看護学部、リハビリテーション学部を新設

	※ 兵庫医科大学と兵庫医療大学が統合
青山学院大学	法学部（ヒューマンライツ学科120人）を新設
東海大学	全学的な改組。19学部を23学部へ改組し、文理融合学部、建築都市学部、国際学部、経営学部、人文学部、児童教育学部を新設
名城大学	情報工学部（情報工学科180人）を新設
近畿大学	情報学部（情報学科330人）を新設
摂南大学	国際学部（国際学科）を新設
追手門学院大学	国際教養学部を文学部と国際学部へ改組
岡山理科大学	情報理工学部（情報理工学科）、生命科学部（生物科学科）を新設

※ 大学名、学部などは申請中であり、すべて仮称となります。

□ 学部系統別の志望動向

国公立大学、私立大学ともに、全体の志願者数は前年並となっています。

国公立大学では、語学、社会学、国際関係学、教員養成・教育学、生活科学、総合科学系統などで志願者数が減少している一方で、法学、医学、歯学、薬学、農・水産学系統などで増加しており、理高文低の傾向が続いています。私立大学では、語学、芸術学、医学系統などで志願者が減少している一方で、法学、歯学、農・水産学系統で増加しています。

〔第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試 学部系統別志望動向〕

	全 体	人文科学	語 学	法 学	経済・経営・ 商学	社会学
国公立大学	100	102	93	104	98	96
私立大学	99	99	82	107	99	99
	国際関係学	教員養成・ 教育学	生活科学	芸術学	総合科学	保健衛生学
国公立大学	91	96	94	102	93	101
私立大学	98	102	98	97	102	98
	医 学	歯 学	薬 学	理 学	工 学	農・水産学
国公立大学	106	113	113	100	100	103
私立大学	95	103	102	100	100	103

〔過年度入試結果（6か年）と第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試でみられる志望動向〕

	過年度入試結果（6か年）	第1回ベネッセ・駿台大学入学共通 テスト模試でみられる志望動向
人文科学	国公立大学は2018年度入試から2020年度入試までは募集人員、志願者数ともに横ばいであったが、2021年度入試では志願者数が減少した。私立大学は、ここ数年志願者数の高止まりが続いていたが、2021年度入試では大幅に減少した。	国公立大学、私立大学ともに志願者数は前年並。
語 学	国公立大学は海外渡航が制限される情勢もあり、志願者数は、2021年度入試で大幅に減少した。私立大学は2019年度入試までは志願者数が増加傾向にあったが、2021年度入試では大幅に減少した。	国公立大学は志願者数がやや減少。私立大学は志願者数が減少。国公立大学、私立大学ともに英米語の志願者数が減少しており、昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響で留学を含めた国際交流の機会が制限されていることも要因と考えられる。
法 学	国公立大学は2020年度入試で志願者が大きく減少したが、2021年度入試でやや増加した。私立大学は2019年度入試までは志願者数が増加傾向にあったが、2020年度入試から減少が続く。	国公立大学、私立大学ともに志願者数はやや増加。
経済・経 営・商学	国公立大学、私立大学ともに2019年度入試までは人気回復傾向にあったが、2020年度は減少傾向に転じた。	国公立大学、私立大学ともに志願者数は前年並。
社会学	国公立大学、私立大学ともに2019年度入試までは志願者数は増加傾向にあったが、2020年度以降は減少傾向に転じた。	国公立大学は志願者数がやや減少。私立大学は志願者数が前年並。観光学系統の志願者数は、国公立大学がやや減

		少、私立大学が減少しており、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が考えられる。
国際関係学	国公立大学は2020年度入試までは志願者数、募集人員の増加傾向が続いていたが、2021年度入試では大きく減少。私立大学は2019年度入試までは志願者数、募集人員の増加傾向が続いていたが、2020年度入試以降、志願者数は減少に転じた。	国公立大学は志願者数が減少。私立大学は志願者数が前年並。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で留学を含めた国際交流の機会が制限されていることも要因と考えられる。
教員養成・教育学	国公立大学は志願者数、募集人員の減少傾向が続いている。私立大学は2020年度入試以降、志願者数の減少が続いている。	国公立大学の志願者数はやや減少。私立大学の志願者数は前年並み。
生活科学	国公立大学、私立大学ともに2019年度入試までは志願者数に大きな変化はなかったが、2020年度以降は減少が続いている。	国公立大学の志願者数はやや減少。私立大学の志願者数は前年並。
保健衛生学	国公立大学は2020年度入試で志願者数が減少したが、2021年度入試では前年並。私立大学は2019年度入試以降、志願者数の減少が続いている。	国公立大学、私立大学ともに志願者数は前年並。
医学	国公立大学は志願者数の減少が続いていたが、2021年度入試では下げ止まった。私立大学は2018年度入試以降、減少傾向が続いている。	国公立大学は志願者数がやや増加。私立大学は志願者数がやや減少。国公立大学では、昨年度に続き安全志向がみられる。
歯学	国公立大学は2017年度入試から2019年度入試にかけて志願者数が増加傾向にあったが、2020年度入試以降は減少に転じた。私立大学は年によって増減があるが志願者数は減少傾向にある。	国公立大学は志願者数が増加。私立大学は志願者数がやや増加。
薬学	国公立大学は2019年度入試から志願者が減少していたが、2021年度入試では増加した。私立大学では志願者数の減少が続いている。	国公立大学は志願者数が増加。私立大学は志願者数が前年並。新型コロナウイルス接種で注目が集まっていることや、資格志向の高まりなどの影響が考えられる。
理学	国公立大学は志願者数に大きな影響がない状況が続いていたが、2021年度入試では大きく減少した。私立大学は2018年度入試以降、志願者数が増加傾向にあったが、2021年度入試では減少した。	国公立大学、私立大学ともに志願者数は前年並。
工学	国公立大学は過去6年間志願者数に大きな変化はなし。私立大学は志願者数の増加が続いていたが、2021年度入試では大幅に減少した。	国公立大学、私立大学ともに、志願者数は前年並。特に情報工学系統の人气が継続している。
農・水産学	国公立大学は減少傾向が続いている。私立大学は年によって増減はあるが、2021年度入試で志願者は大幅に減少した。	国公立大学、私立大学ともに志願者数がやや増加。

「第5回保護者対象進路研修会」について（再掲）

以下にて、「第5回保護者対象進路研修会」を行います。

日 時	令和3年12月4日（土） 14:00～15:30
場 所	本校視聴覚教室
内 容	「2022年度入試について」
講 師	駿台予備学校 広島校 講師（予定）

進路指導室前に申込用紙を用意していますので、必要事項をご記入の上、お子様を通じて進路指導部にご提出してください。（申込手続きなしのご参加はご遠慮ください）

終わりに

広島城周辺の木々の紅葉が例年に比べて遅れているような気がします。いつもとは違う自然の姿は、私たちの生活に何らか警鐘を鳴らしているようで気になります。
（文責：進路指導部 池本 邦彦） 経